

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	消防団運営事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	危機管理部	課等名	防災交通課		包含する細々目	1	9	1	2	11	1	44,015
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心して快適なまちづくり					1	9	1	2	11	2	589
施策	41 災害対策の推進					1	9	1	2	11	4	105,256
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議		不要		関連計画 条例等				
		事業期間	年度 ~	年度								

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	市民の生命財産	飯田市の人口(人) (H18.10.1推計人口)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする	
			107844	107000			
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	生命・財産を守る	消防団員の定数を確保する。定数1408人	18目標	1408	最終目標	1408	
			18実績	1399	19目標	1408	↑
			23目標		23実績		最終目標達成年度
			18目標		最終目標		
			18実績		19目標		↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	消防団員の、災害及び訓練等の活動運営経費及び研修費用、活動を担保する共済基金への加入、活動拠点となる詰所の維持管理事業、消防団員出勤手当等の交付金、消防団活動に必要な装備品購入事業	災害対応(火災、風水害、人命検索、警戒) 消防団活動(各種訓練、予防査察、研修会、発表会)	出勤・活動延べ件数 出勤・活動延べ人員	12,156 44,461
		18年度の実績		
		災害対応(火災、風水害、人命検索、警戒) 消防団活動(各種訓練、予防査察、研修会、発表会)	出勤・活動延べ件数 出勤・活動延べ人員	12,000 44,000
		19年度計画		

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	350	350
	一般財源	150,466	149,510
事業費計(A)	150,816	149,860	
人件費	正規職員所要時間	18年度 910	19年度 910
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	3,254	3,254
	トータルコストA+B	154,070	153,114

特定財源内訳や補足事項	消防団員等公務災害補償金 安全装備品整備等助成金 初期消火、応急救護普及活動助成金
-------------	---

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	災害や火災の被害を軽減する	市民が災害にそなえている割合・%	現状値	40.3	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
	火災発生件数・件		現状値	51	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	

<p>この事業を開始したきっかけ</p> <p>消防組織法に基づき、常備消防を補完する組織として昭和31年9月飯田市消防団条例により現消防団として組織化された。</p>	<p>事業を取り巻く状況の変化</p> <p>消防団は、生業を持ちながらも、「自らの地域は自らが守る」という崇高な郷土愛護の精神に基づき、各種災害に立ち向かい、地域の安心・安全の確保に大きく貢献しており、地域の実情に精通した住民から構成されているため、地域密着性、要員動員力及び即時対応力の面でも優れた組織であります。また災害対応はもとより地域コミュニティー維持及び振興にも大きな役割を果たしてきており、地域住民から大いに期待されている。しかし、人口の過疎化、少子高齢化社会の到来や産業・就業構造の変化等に伴い、消防団員は減少傾向にある。これ以上減少傾向が続くと地域の安全を確保するうえでは大変憂慮される状況にあることから、国(総務省消防庁)としても全国統一的な課題として、消防団員確保は、最優先</p>	<p>事業に対する市民や議会の意見</p>
---	---	------------------------------

【See】18年度の振り返り

<p>目的妥当性評価</p>	<p>この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 結びつく (その理由)</p> <p>あらゆる災害に消防団は対応している。</p>	<p>有効性評価</p>	<p>成果をさらに向上させる余地はありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 余地がある (その理由)</p> <p>消防団の人員増及び機器の充実</p>
	<p>対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がある (その理由)</p> <p>消防団員が減少傾向にある地域では、機能別団員等を検討する必要がある。</p>		<p>廃止・休止した場合の影響はありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 影響あり (その理由)</p> <p>市民の安心・安全が確保されない</p>
	<p>意図の見直しの必要性はありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由)</p> <p>消防団の任務が、市民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、水火災、地震等の災害を防止し、災害による被害を軽減することであるため。</p>		<p>他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 統合不可能 (類似事業名、理由)</p> <p>南信州広域連合消防参画事業、常備消防と非常備消防は組織及び管轄地域の相違から統合は不可能</p>
	<p>市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 必要ある (その理由)</p> <p>飯田市消防団であるため。</p>		<p>効率性評価</p> <p>成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 不可能 (その理由)</p> <p>現状の消防団員定数は、有事に必要な人数</p>
			<p>公平性評価</p>	<p>受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 妥当である (受益者とその理由)</p> <p>飯田市民及び消防団員</p>

【Plan】改革改善

<p>今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 終了</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止</p> <p><input type="checkbox"/> 休止</p> <p><input type="checkbox"/> 目的見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 別事業に統合</p> <p><input type="checkbox"/> 事業のやり方改善</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 <input type="text"/></p> <p>具体化</p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p>	<p>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p>
---	-----------------------------

【補足事項環境側面】

<p>(1) 環境影響評価の必要性判断</p>	<p><input type="checkbox"/> 必要性がない</p>	<p>(2) 必要性な場合の実施事由</p>
<p>(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？</p>		

【指摘事項】

<p>施策マネジメント会議</p>	
<p>施策評価会議</p>	
<p>第5次基本構想基本計画推進委員会</p>	